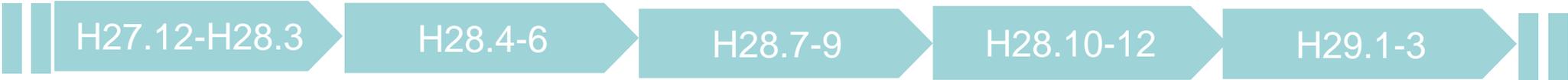




# G空間情報センターの利活用推進チーム 工程表



**センター公募に向けた検討等**

- センターの機能、具体的業務、公募条件の検討
- G空間プラットフォームの開発実証
- データ提供・利用条件等の検討

**センター運営主体決定**

- 運営主体の選定
- G空間情報の収集着手等、運営準備開始
- 各府省によるデータ提供等の支援開始

**センター活動開始**

- 多様なG空間情報の登録及び提供準備
- 産学官連携による協力体制の構築
- 各種広報活動

**センター本格稼働**

- 多様なG空間情報の利用者への提供
- 利活用のショーケースの構築
- 各種広報活動

**次年度に向けた課題の洗い出し等**

- 次年度のセンターの具体的業務及び公募条件の検討

**<基盤情報整備>**

- 統計地理情報の整備
- 地質情報の全国的ポータルサイトの構築及びデータ整備(センター運用開始を踏まえて利活用調査を実施)
- 国土の変化等に応じ、基盤地図情報及び電子国土基本図の整備・更新
- 海洋調査を実施し、海域の基盤情報を整備
- 環境省大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君)及び、環境省花粉観測システム(はなこさん)の運用管理

**<次世代G空間社会の構築>**

- G空間防災システムの構築及びオープンデータ・ビッグデータ利活用推進
- 防災、農業、観光等の幅広い分野における社会実証

**<29年度までの準天頂衛星打ち上げ計画>**

- 災害危機通報・安否確認システムの利活用等、産官学関係者と連携しつつ宇宙を活用した効果的な防災・減災の手法の検討、実証。
- G空間情報活用推進プロジェクト等の地域・民間事業者主体の宇宙に関連する新たなビジネスモデル(防災・減災、農業、林業、交通、三次元高精度地図等)について、スペースニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)との連携を行い、日本発の革新的ビジネスモデルを創出



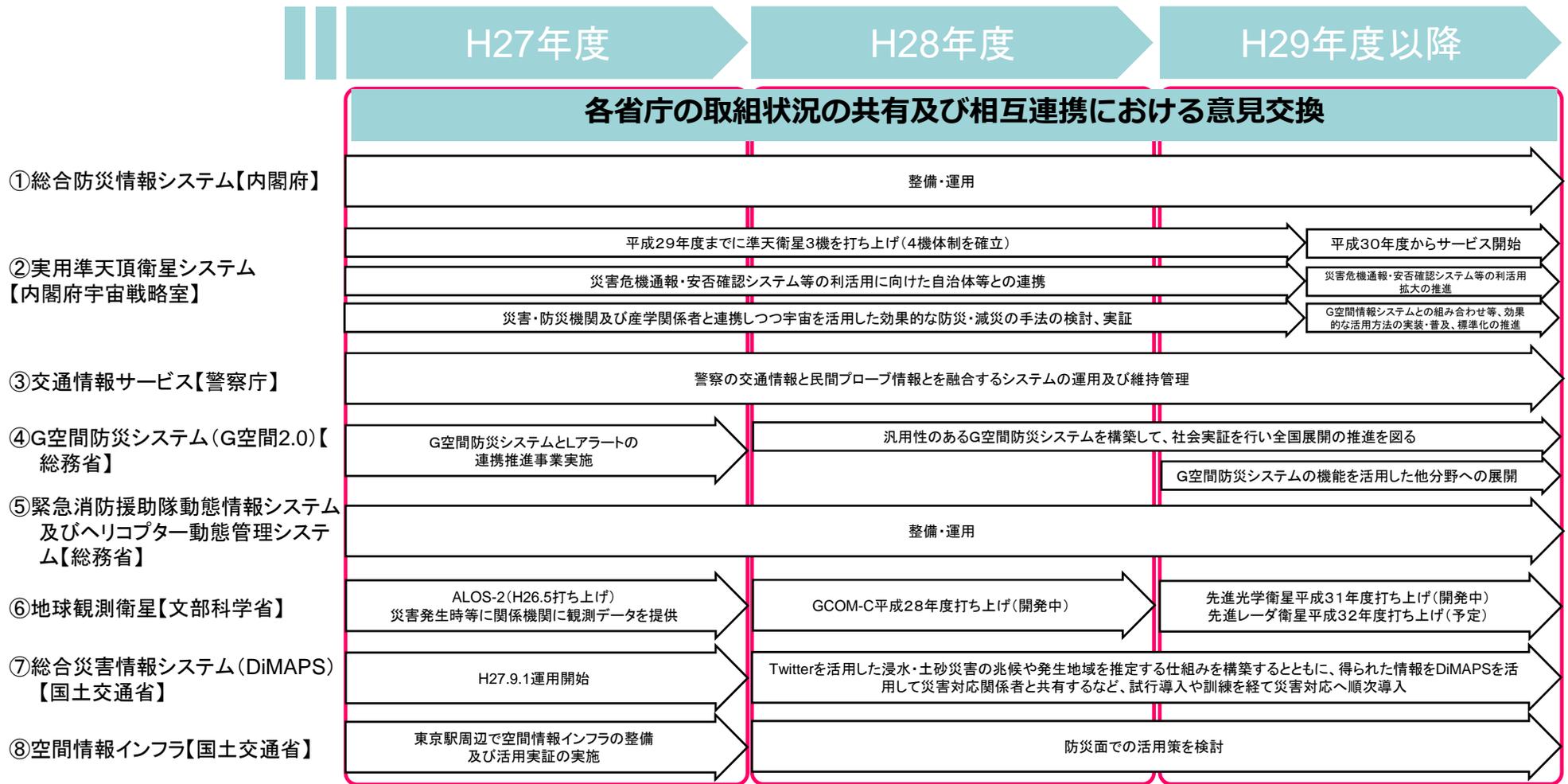
**他チーム(防災システム、IT農林水産業、地域・中小企業活性化)の取組みとも連携しつつ、G空間情報センターと高精度衛星測位等の宇宙インフラを組み合わせ、防災・農業・交通等の各分野で新たな産業やサービスを実現(G空間2.0社会の実現)**

**大目標: 「G空間情報センター」の利活用推進**

**<G空間情報センターの活用促進>** ①G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討【国土交通省】 ②次世代G空間社会の構築(G空間2.0)事業【総務省】**<基盤情報整備>** ③統計GISの充実【総務省】 ④地質情報の整備【経済産業省】 ⑤基盤地図情報・電子国土基本図の整備・更新【国土交通省】 ⑥海域の地理空間情報の整備・提供【国土交通省】 ⑦大気汚染等の環境データの情報配信等を行う大気環境監視システム整備・運用【環境省】 **<オープンデータ等の利活用>** ⑧公共データの横断的利活用促進のための実証実験等の実施【総務省】



# 防災システム高度化推進チーム 工程表（案）



## 大目標：「防災システムの構築」

- ①総合防災情報システムの整備と運用【内閣府】 ②実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進【内閣府宇宙戦略室】 ③プローブ情報の活用による災害時の交通情報サービス環境の整備【警察庁】 ④次世代G空間社会の構築(G空間2.0)【総務省】 ⑤緊急消防援助隊動態情報システム及びヘリコプター動態管理システムの整備・運用【総務省】 ⑥地球観測衛星の継続的開発、利用実証等【文部科学省】 ⑦基盤地図情報・3次元の精密標高データと被災状況等を電子地図上で重ね合わせ分析、共有できる総合災害情報システム(DiMAPS)の運用【国土交通省】 ⑧高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進【国土交通省】



# IT農林水産業推進チーム 工程表

H27年度

H28年度以降

## 農業機械の自動走行技術の研究開発・普及

- 衛星情報を活用した農業機械の走行作業アシストシステムや有人-無人協調走行システムの導入実証(岩見沢地区等での実証)
- 有人-無人協調走行システムにおける安全性確保策の検討

- 衛星情報を活用した農業機械の走行作業アシストシステムの普及
- 実用化に向けた有人-無人協調走行システムの導入実証
- 有人-無人協調走行システムにかかる生産現場における安全性の検証及びこれに基づく安全性確保のルールづくり
- 準天頂衛星の活用に向けた自動走行システムの開発(現場が導入可能な受信機の開発、自動走行システムの実証等)

- G空間情報活用推進プロジェクト等の地域・民間事業者主体の宇宙に関連する新たなビジネスモデル(農林水産分野)について、スペースニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)との連携を行い、日本発の革新的ビジネスモデルを創出。

## 森林資源の管理、施業の集約化に資するクラウドを活用した森林情報共有システムの開発

- 森林情報システムの仕様・データ形式の標準化及び航空レーザー等により取得したデータの利活用の実証
- G空間社会実証プロジェクト事業  
平成27年度にICTとG空間情報を活用した公共建築物用材搬出プロセスの構築に係る実証を実施(人吉市)。今後、地方創生交付金タイプ I 申請事業(スマート林業構築事業)において普及・展開を目指す。

## 衛星データの利活用による漁場環境観測、資源評価の精度向上

- 広域的な赤潮の発生、分布状況の把握・予測手法の開発
- 漁場の表面水温、植物プランクトンの分布状況の把握
- 衛星データを活用した資源変動メカニズムの分析、資源評価の精度向上

## 大目標：「IT農林水産業の構築」

- ①先端ロボットなど革新的技術の開発・普及【農林水産省】
- ②森林情報のデータ形式の標準化、将来の資源量予測等のシミュレーション技術の開発等【農林水産省】
- ③宇宙に関連した新産業及び新サービス創出等に関する調査【内閣府】
- ④実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進【内閣府】
- ⑤赤潮・貧酸素水塊対策推進事業のうち人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法の開発【農林水産省】
- ⑥我が国周辺水産資源調査・評価推進事業のうち人工衛星・漁船活用型漁場形成情報等収集分析事業【農林水産省】



# 地域・中小企業活性化推進チーム 工程表

H27.12-H28.3

平成28年度予算を踏まえた  
業務の具体的検討等

H28.4-6

事業準備、着手等

H28.7-9

事業着手、実施等

H28.10-12

事業実施、  
センターとの連携等

H29.1-3

平成29年度に向けた  
課題検討等

## <観光・安全安心なまちづくり>

- 東京駅周辺の空間情報インフラの整備、活用実証(28年1月目途)、次年度展開検討
- 屋内外シームレス測位技術基準の素案作成、3次元地図仕様案の作成、次年度展開検討

- 28年度に行う高精度測位技術を活用したサービス実証の展開先を踏まえた具体的業務の検討
- 屋内外シームレス測位技術基準の素案の改良方針検討、3次元地図仕様案の改良方針検討

- 28年度高精度測位社会プロジェクト実証実験に向けた詳細計画検討
- 屋内外シームレス測位技術基準(案)の検討、3次元地図仕様案の改良検討

- 28年度高精度測位社会プロジェクト実証実験に向けた詳細計画検討、空間情報インフラ等整備
- 屋内外シームレス測位技術基準(案)の検討、3次元地図仕様案の改良検討、3次元地図の効率的整備・更新手法の検討

- 28年度高精度実証実験実施、結果取り纏め(空港～街中～スタジアム(予定))
- 屋内外シームレス測位技術基準(案)の作成、改良した3次元地図仕様案の作成、3次元地図の効率的整備・更新手法の開発、次年度展開検討

○歩行者移動支援にかかるオープンデータ環境整備の推進

○「高精度測位技術の公共交通システムへの適用に係る技術開発」及び「乗継ぎ円滑化等に資する情報提供等に係る技術開発」を推進

## <サービス産業の創出>

- スペースニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)を平成27年度内に立ち上げ、同ネットワークによる新事業・新サービス創出を推進。
- 空間情報活用推進プロジェクト等の地域・民間事業者主体の宇宙に関連する新たなビジネスモデル(防災・減災、農業、林業、交通、三次元高精度地図等)について、スペースニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)との連携を行い、日本発の革新的ビジネスモデルを創出。
- 準天頂衛星を活用した無人航空機による離島等への安全な物流事業の実現に向けた各種データを収集するための飛行実証等を行う。

※RESASの取組、中小企業庁の取組等については、今後整理する予定

## 大目標：「G空間情報を活用した地域・中小企業の活性化」

<観光・安全安心なまちづくり>①実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進【内閣府】 ②高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進【国土交通省】 ③高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発【国土交通省】 ④歩行者移動支援の普及・活用の推進【国土交通省】 ⑤3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発【国土交通省】 <サービス産業の創出>⑥宇宙に関連した新産業及び新サービス創出等に関する調査【内閣府】 ⑦無人航空機IoT事業【経済産業省】



# 海外展開推進チーム 工程表

H27.12-H28.3

H28年度

## G空間関連技術や準天頂衛星システム等の海外展開に係る具体的方策の検討

- 関係省庁が海外展開を目的として実施している実証実験等の内容や、明らかになった課題を共有。
- 宇宙システム海外展開タスクフォースと連携し、我が国の強み、相手国のニーズ・国情、総合的パッケージなどの観点から戦略的に具体的な海外展開方策を検討。

## G空間関連技術や準天頂衛星システム等について、官民一体となった海外市場の開拓

- 関係省庁が実施する海外展開実証実験等の機会や国際共同研究等の機会を活用し、相手国における人材育成及び積極的な導入の働きかけを産学官連携の下、推進する。
- 宇宙システム海外展開タスクフォースと緊密に連携し、特にG空間関連分野に関する海外展開に当たっての課題の検討や具体的な各案件及びプロジェクトベースでの官民協力の調整を行う。

## 電子基準点網をはじめとするNSDIの案件形成支援

- セミナー、専門家派遣、研修受入等を通じた、本邦の経験を踏まえたG2Gの技術的助言を中心とする案件形成支援

## 大目標：「海外展開の推進」

- <海外展開支援>① 宇宙システムの海外展開に関する調査【内閣府】、② 次世代G空間社会の構築(G空間2.0)事業【総務省】、③ 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発【経済産業省】  
<国際連携事業>④ 国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム【文部科学省】、⑤ 「センチネルアジア」プロジェクトの推進による衛星データの提供【文部科学省】、⑥ 電子基準点網をはじめとするNSDIの海外展開の推進【国土交通省】